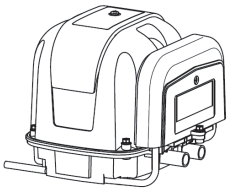


AP型エアーポンプ 施工・維持管理者様用 取扱説明書

電磁式エアーポンプ



AP-100WE X
ばっき逆洗自動切換タイマー付

無給油
屋外仕様

付属品

ご使用前に下記の製品・付属品が全て揃っているかどうかご確認ください。

ポンプ本体	1台	L型配管	2本	ホースバンド	8個
クロス配管	2本	空気配管	2本	取扱説明書（お客様用）	1部
取扱説明書（施工・維持管理者様用）	1部	クロス配管の使用方法	1部		

1. はじめに

安永のエアーポンプをご使用いただき、誠にありがとうございます。
この説明書には、取扱要領、施工要領、維持管理要領および注意事項を記載しています。
トラブルを防止し安全に使用していただくため、下記のことをお守りください。
※ この説明書をよく読み正しくご使用ください。
※ また、この説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。

なお、本書の図やイラストは一例を示したもので、詳細は実際の製品と異なる場合があります。

2. 警告表示について

ここに表示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用者や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための安全に関する重要な内容です必ずお守りください。
この取扱説明書では、誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

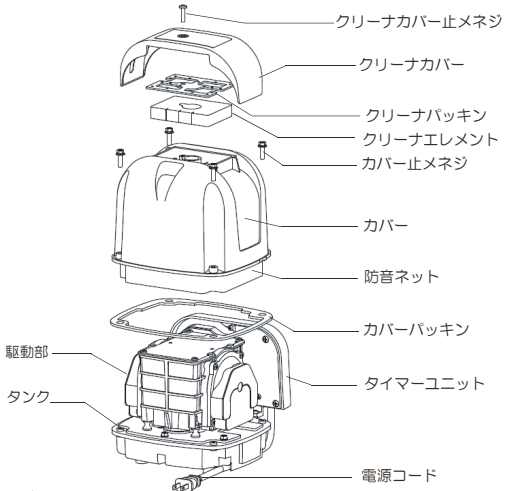
警告 この表示の欄は、『死亡又は重症を負うことが想定される』内容を示します。

注意 この表示の欄は、『傷害を負う可能性及び物の損害の発生する可能性が想定される』内容を示します。

※ 物的損害とは、家屋・家財・家畜およびペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。

	製品の取り扱いにおいて、気をつけていただきたい「注意喚起」内容を示します。
	製品の取り扱いにおいて、してはいけない「禁止」内容を示します。
	製品の取り扱いにおいて、必ず実行していただく「強制」内容を示します。

3. ポンプ構造



4. 施工の前に

警告

本ポンプを指定電源以外で使用されますと、感電や短絡事故の原因となる他、ポンプの性能を著しく低下させる原因となります。
本ポンプは空気の吐出専用です。
吸引用途や液体・固体の吐出用途には使用しないでください。
機器に組み込んで、装置の一部として使用される場合は、当社に問い合わせてください。

5. 設置場所について

維持管理が容易にできる場所に設置してください。

注意

ポンプの近くに可燃物を置かないでください。
ポンプを水面より下に設置しないでください。
ポンプを停止させた時、水が逆流し漏電・感電の原因となります。
ポンプの上に防音対策などのカバーをかぶせないでください。
内部温度が上昇しポンプが早期破損の原因となります。

注意

- プロパンガスなどの可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へは設置しないでください。ガスが漏れ、ポンプの周囲に溜まると発火の原因となる場合があります。
- 配管は長さ10m以下を目安に、曲がり部は5曲がり以内としてください。配管は塩ビ管VP13を使用してください。
- ポンプは直射日光のあたる場所を避け、風通しの良い場所に設置してください。
- 湿気やホコリの多い場所は避けて設置してください。
- 換気扇の下など油分を吸い込む可能性のあるところを避けて設置してください。
- 大雨が降っても、ポンプが冠水しない場所に設置してください。
- ポンプは積雪のない場所に設置してください。

ポンプ本体に雨水がまとってかかる場所は避けてください。通常の雨では、雨水がポンプ内に入り込むことはありませんが、雨どいや配電盤の下など、雨水がまとってかかる場所は避けてください。

まともってかかる場所を避けられない場合はポンプの上の水よけの屋根などを取り付けてください。

これらを怠ると感電・発火・漏電の生ずる恐れがある他、ポンプが早期に破損する原因となります。

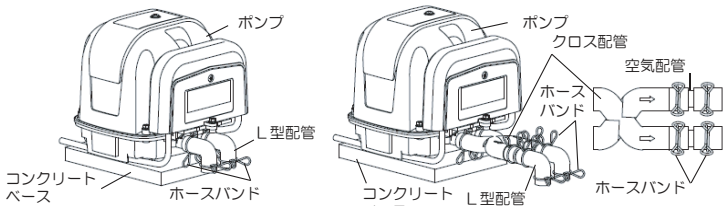
注意

- ポンプ本体は寝室や応接室など、運転音の気になる所から離して設置してください。
- ポンプは地表より10cm以上高いコンクリートベースの上に設置し、建物の基礎と切り離してください。又、壁より20cm以上離して設置してください。

これらを怠ると振動・騒音・浸水の原因となります。

6. 施工方法

- ポンプ本体は地表より10cm以上高いコンクリートベース上に水平に設置し、建物の基礎とつながないようにし、壁から20cm以上離してください。
- ばっ気・逆洗の配管を確かめ、図のようにポンプ吐出口と塩ビ管を同梱されているL型配管でつなぎ、ホースバンドで確実に止めてください。
ばっ気・逆洗の配管とポンプ吐出口のばっ気・逆洗の位置が逆になっている場合は、同梱されているクロス配管・空気配管・L型配管でつなぎ、ホースバンドで確実に止めてください。（クロス配管の接続方法は別紙『クロス配管の使用方法』をお読みください。）
- 屋外コンセントは防水型コンセントを使用し、電源配線には漏電ブレーカを取り付けてください。



注意

電源コードの抜き差しはプラグを持っておこなってください。

ポンプを屋外にて運転される場合は防水型コンセントを使用してください。

ポンプの電源配線には必ず適正な電線を使用し、漏電ブレーカを取付けてください。

仕様表の電流値を参照

ポンプ本体の底部に手を掛けて持ち運んでください。

タイマーユニット、電源コードに手を掛けて持ち上げると、故障の原因となります。

これらの注意を怠ると、感電・発火が生ずる恐れがあります。

7. 試運転

注意

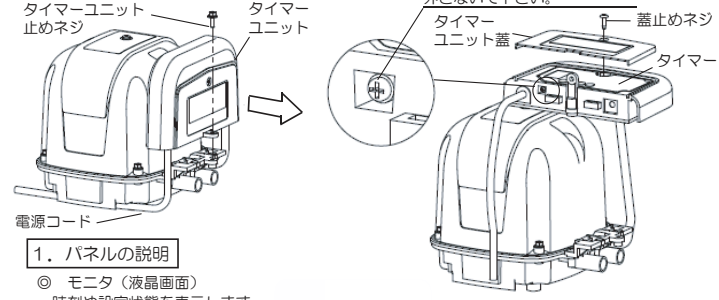
使用圧力範囲外で使用されますと、ポンプに負荷がかかり寿命を著しく低下させる原因となります。適正な圧力で運転してください。仕様表の使用圧力範囲をご確認ください。

- 浄化槽内に規定水位まで水張りされているか確認してください。
- プラグをコンセントに差し込み、浄化槽と正しく配管接続されているか確認してください。
- ポンプ本体から異常音や異常な振動がないか確認してください。
- 次項の「タイマーの確認及び設定方法：手動逆洗の方法」で、逆洗運転に切り替わるか確認してください。

8. タイマー設定の確認及び変更方法

本機は内蔵タイマーの設定によりばっ気、逆洗の自動切り替えを行います。運転前に設定の内容を確認して下さい。タイマーの操作部はタイマーユニット蓋内にあります。タイマーユニットはポンプ本体から取り外す事が出来ます。タイマー設定の確認・変更を行う際は次の手順に従って行って下さい。

- タイマーユニット止めネジをドライバーで外します。
- タイマーユニットを手前（矢印方向）にスライドさせてから上に引き上げます。その時、ポンプを少し傾けて電源コードをポンプ下部の溝から外します。
- 蓋止めネジをドライバーで外します。
- タイマーユニット蓋を上へ引き上げて外します。



1. パネルの説明

- モニタ（液晶画面）時刻や設定状態を表示します。
 - 【手動逆洗】ボタン手動で逆洗を行います。
 - 【設定】ボタン各設定を行います。
 - 【時】ボタン時刻及び逆洗開始時刻、逆洗終了時刻を変更します。
 - 【分】ボタン時刻及び逆洗終了時刻を変更します。
- （設定の流れ）
自動運転
現在時刻設定
逆洗番号設定
逆洗開始時刻設定
逆洗終了時刻設定
自動運転
逆洗開始時刻と終了時刻が0:00の場合自動運転に戻ります
- 時計合せ 自動 手動
ON OFF 88:88
- 現在時刻、逆洗回数、逆洗開始時刻、逆洗終了時刻を表示します。

2. モニタ表示の説明

- 時計合せ 時刻設定中に点灯します。
- 自動 自動運転中に点灯します。
- 手動 手動逆洗運転中に点灯します。
- ON 逆洗状態で運転しているときに点灯します。逆洗開始時刻の設定中に点滅します。
- OFF 逆洗終了時刻の設定中に点滅します。
- 88:88 現在時刻、逆洗回数、逆洗開始時刻、逆洗終了時刻を表示します。

3. 設定の確認

（設定の流れ参照）
現在時刻および逆洗回数、逆洗開始時刻、逆洗終了時刻の確認を行います。

1) 現在時刻の確認と設定方法
現在時刻は出荷時に設定されています。液晶表示が『自動』になっている状態で現在時刻が表示されていることを確認して下さい。
現在時刻の確認および設定内容を変更する必要がある場合は、下記要領に従い操作して下さい。

液晶表示が『自動』になっている状態で【設定】ボタンを押すと、『時計合せ』が点灯し、時刻表示が点滅します。

時計合せ 点滅 0:00

【時】【分】ボタンを押して、現在時刻を確定します。（ボタンを長押しすると早送りになります。）
【設定】ボタンを押すと確定し、引き続き逆洗回数の確認、設定モードに移行します。
時刻設定のみの場合は、液晶表示が自動運転（『現在時刻』と『自動』が点灯）になるまで【設定】ボタンを押して下さい。

- 2) 逆洗タイマーの確認と設定
逆洗開始・終了時刻・逆洗回数は工場出荷時に初期設定されています。設定内容の確認および設定内容を変更する必要がある場合は、下記要領に従い操作して下さい。

2-1) プログラム番号による変更
下表の逆洗時間設定については、プログラム番号により設定されています。プログラム番号により逆洗時間設定を変更する場合は、下記要領に従い操作して下さい。

プログラム番号	逆洗開始時刻	逆洗終了時刻	手動逆洗時間
A1 (工場出荷時設定)	2:00 3:00	2:05 3:05	10分 5分
A2	2:00 4:00	2:05 4:05	5分
A3 (12回/日、2時間毎)	0:00 2:00 :	0:07 2:07 :	5分
A4	20:00 22:00	20:07 22:07	5分
A5	3:00 3:00	2:15 3:15	5分
A6	2:00 4:00	2:20 4:20	20分
A7	0:00 2:00 3:00	0:15 2:10 3:10	5分 10分
C3	4:00	4:10	

手順1 液晶表示が『自動』になっている状態で【時】ボタンを、3秒間長押しすると、プログラム番号が表示されます。

A 1

手順2 【分】ボタンを押して、変更したいプログラム番号に変更して下さい。

A 2

手順3 【設定】ボタンを押すと、自動運転に戻ります。

自動 12:50 点灯

2-2) 任意の逆洗時間への変更
任意の逆洗時間設定に変更する場合は、下記要領に従い操作して下さい。

手順1 液晶表示が『自動』になっている状態で【設定】ボタンを2回押しすと、逆洗番号『1』が表示されます。

自動 点灯

手順2 【設定】ボタンを押すと、1回目の逆洗開始時刻が表示されます。変更する場合は【時】ボタンと【分】ボタンを押して変更して下さい。

ON 点滅 2:00 点灯

手順3 【設定】ボタンを押すと、1回目逆洗終了時刻が表示されます。変更する場合は【分】ボタンを押して変更して下さい。逆洗終了時刻は逆洗開始時刻に対し、同じ「時」単位での時刻で設定して下さい。（逆洗開始時刻 2:50、逆洗終了時刻 3:15等は不可）

OFF 点滅 2:05 点灯

手順4 【設定】ボタンを押すと、逆洗番号『2』が表示されます。

2 点灯

逆洗時刻設定を終了する場合
【設定】ボタンを押した後、【時】ボタンで逆洗開始時刻を『0:00』にして下さい。再度【設定】ボタンを押した後、【分】ボタンで逆洗終了時刻を『0:00』して下さい

ON 0:00
OFF 0:00

2回目以降の逆洗時刻設定をする場合
手順2~4を繰り返し、2回目の逆洗開始時刻及び逆洗終了時刻を設定します。（同様の手順で最大12回目まで設定可能。）

ON 3:00
OFF 3:05

【設定】ボタンを押すと、自動運転に戻ります。

自動 12:50 点灯

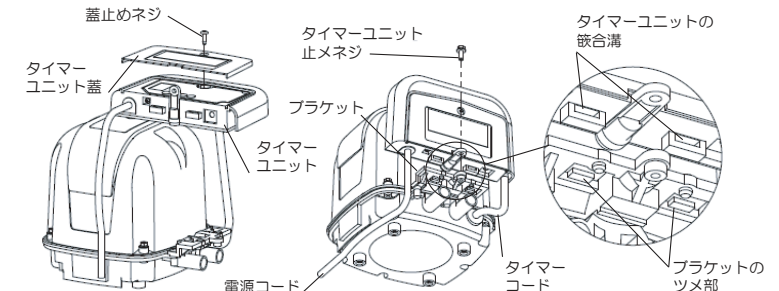
3) 手動逆洗運転の方法
【手動逆洗】ボタンを押すと設定時刻に関係なく逆洗運転になります。もう一度【手動逆洗】ボタンを押すと自動運転に戻ります。（手動逆洗運転で所定時間経過すれば自動的に自動運転に戻ります。）

ON 点灯 12:51

注意

タイマー設定の確認及び点検が終了したら、タイマーユニット蓋を蓋止めネジで取付け、タイマーユニットはタイマーユニット取り付け手順に従って、必ず元の位置に取り付けて下さい。地面に放置する等した場合、雨水の浸漬などでタイマーユニット内部に水が浸入し漏電や感電の原因となります。

- ・タイマーユニット取付手順
- タイマーユニットにタイマーユニット蓋をドライバーを用いて蓋止めネジで固定します。
 - タイマーユニットの嵌合溝にブラケットのツメ部を差し込み、タイマーユニットをブラケットに設置します。
 - ドライバーを用いてタイマーユニット止めネジにてタイマーユニットをブラケットに固定します。
 - タイマーコードをタイマーユニットの溝部に収めてください。
 - ポンプを少し傾けて電源コードをポンプ下部の溝に収めてください。



9. 維持管理の方法

1) 維持管理のご注意

警告

- 濡れた手で電源プラグをさわないでください。また、ポンプを水洗いしないでください。感電の原因となります。
- ポンプ本体の点検・メンテナンスは、必ず電源コードを抜きポンプの停止を確認してからおこなってください。また、停止直後はポンプの温度が高くなっていますので冷えてからおこなってください。
- カバーを開けた状態で運転しないでください。運転中、内部を手で触ると、けがや感電の原因となります。

注意

- 電源コードの抜き差しはプラグを持っておこなってください。コード部を引っ張ると、断線、発熱、発火の原因となります。
- ポンプ本体を運ぶときは、本体底面を持ち両手でかかえて運んでください。ポンプ停止直後はポンプの温度が高くなっていますので冷えてからおこなってください。
- クリーナカバー部を持って持ち上げないでください。クリーナカバーが破損し、けがの原因となります。
- タイマーバルブ、電源コードを持って持ち上げないでください。内部の線が断線し発熱・発火の原因となる他、ポンプの性能を著しく低下させる原因となります。
- メンテナンス中または完了後に、本体内部や配管内にゴミや部品を残さないようにしてください。ポンプ内部にゴミや部品が残っていると、感電や短絡事故の原因となる他、ポンプの性能を著しく低下させる原因となります。配管内にゴミ等異物が残っていても、ポンプに異常な負荷がかかり性能を著しく低下させる原因となります。

2) 維持管理の方法

下記項目を定期的の実施してください。

⚠ 注意

⚠ 定期的なメンテナンスを怠ると、ポンプの寿命が短くなる他、浄化槽の機能を低下させる原因になります。

・電源コード・プラグのチェック

電源コード・プラグの被覆が破れていないか、電源コード・プラグが異常に熱くないか、プラグの刃の部分にほりりが付着していないか、プラグが換元まで確実に差し込まれているかを確認してください。

・ポンプとポンプ周りのチェック

ポンプが作動しているか、ポンプの音、振動に異常がないか確認してください。

ポンプ周りに可燃物が置かれている場合は50cm以上離してください。

・圧力のチェック

使用圧力は常用圧力付近に合わせてください。

浄化槽の汚泥の堆積、散気管の目詰まり、ストップバルブの絞り具合などで使用圧力が高くなると、ポンプ内の温度が極端に上がって、ポンプが早期に破損する恐れがあります。また、異常な音がしたり早期にダイヤフラムが破損する原因となります。

・クリーナエレメント・クリーナパック

クリーナエレメントは、3~4ヶ月に1度点検・清掃を実施してください。

汚れがひどい場合は交換してください。クリーナパックが劣化している場合は交換してください。

・チャンパブロック

1年に1度、駆動部のチャンパブロックを左右同時に交換してください。

チャンパブロックのゴム部品は通常の使用においても常に振動しており、劣化は避けられません。また、高温環境での使用や油分の吸入など使用条件によっても劣化は進行しますので、チャンパブロックは消耗部品として定期的に交換してください。

チャンパブロックの交換などでカバー、カバープレート、カーパッキン、カープレートパック、ケーシングパックを交換してください。

チャンパブロックが破損したまま運転されると、ロッドや電磁石部が破損に至ることがあります。

ロッドが破損した場合は交換してください。電磁石が破損した場合は、ポンプを使用しないでください。

10. 異常診断チェック表

こんなとき	お調べください	処置
ポンプが動かない	電源プラグが抜けていませんか？	確実に差し込んでください。
	漏電ブレーカが働いていませんか？（家屋側）	状況を確認しブレーカを入れてください。
	保護スイッチが作動していませんか？	ポンプの状態を確認し、保護スイッチを復帰させてください。
	チャンパブロック、ロッドが破損していませんか？	チャンパブロック、ロッドを交換してください。
空気が少ない	クリーナエレメントが汚れていませんか？	クリーナエレメントの点検・清掃または交換をしてください。
	チャンパブロック、ロッドが破損していませんか？	チャンパブロック、ロッドを交換してください。
	散気管が目詰まりしていませんか？	圧力の確認と散気管の清掃をしてください。
	配管のはずれ、破損はありませんか？	配管を確認し、必要に応じて交換してください。
音、振動が大きい	ポンプに物が接触していませんか？	接触している物を取り除いてください。
	クリーナカバーが正しく取り付けられていますか？	クリーナカバーを正しく取り付けてください。
	クリーナエレメント、クリーナパックが正しく取り付けられていますか？	クリーナエレメント、クリーナパックを正しく取り付けてください。
	カーパッキン、カープレートパック、ケーシングパックが正しく取り付けられていますか？	カーパッキン、カープレートパック、ケーシングパックを正しく取り付け下さい。
逆洗運転ができない	チャンパブロック、ロッドが破損していませんか？	チャンパブロック、ロッドを交換してください。
	コンクリートベースとポンプとの間にガタつきはありませんか？	ポンプを置きなおしてください。
	使用圧力範囲外で運転されていませんか？	圧力の確認と調整をおこない、使用圧力範囲内で使用してください。
	ポンプを傾けて使用していませんか？	ポンプを水平に置きなおしてください。
浄化槽から悪臭がする	配管のはずれ、破損はありませんか？	配管を確認し、必要に応じて交換してください。
	液晶画面の表示が消えていますか？	販売店に連絡してください。
	逆洗時間の設定が間違っていますか？	タイマーユニットを再設定してください。
	タイマーの手動逆洗ボタンを押すと、逆洗機から空気が出ますか？	逆洗機から空気が出ているか確認し、出ている場合は販売店に連絡ください。出していない場合は販売店に連絡してください。
その他	ポンプの仕様は適切ですか？	浄化槽に適したポンプを選定してください。
	ポンプは正常に作動していますか？	ポンプが正常に作動しているか確認してください。

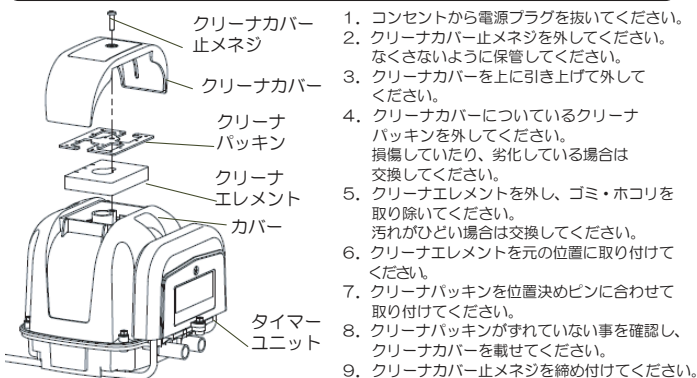
11. クリーナエレメントの点検・清掃・交換方法

クリーナエレメントの点検・清掃は3~4ヶ月毎に1度実施してください。

クリーナエレメントが目詰まりしているときやクリーナパックの劣化がある時は交換してください。

⚠ 注意

⚠ これらの点検を怠ると、吐出空気量の減少や本体の異常過熱が発生し、ポンプの寿命が短くなる他、浄化槽の性能を低下させる原因となります。



⚠ 注意

⚠ クリーナパックを取り付けられなかったり、ずれて取付けられたり、劣化したものを取り付けられると、雨水が内部に浸入し漏電の原因となる他、ポンプが早期に破損する原因となります。
・点検・清掃・交換後は、必ず試運転をおこなってください。（7 試運転 参照）

クリーナエレメントなどの交換部品は、補修部品一覧表を参照ください。

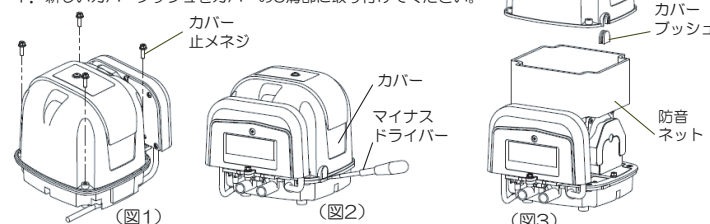
12. チャンパブロック/ロッドの交換方法

(カバーの分解方法)

- コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ポンプ本体から、L型配管（及びクロス配管）を外してください。
- カバー止めネジ（4本）を外してください。（図1）
- カバーを外してください。（図3）

(カバー・カーパッキンの交換方法)

- カバーからカーパッキンを取り外してください。（図3）
- 新しいカーパッキンをカバーのU溝部に取り付けてください。

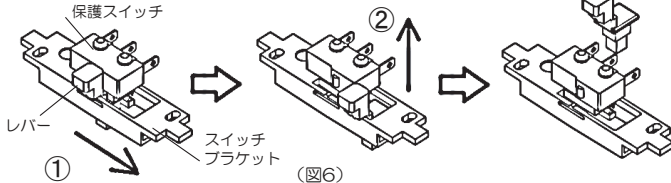
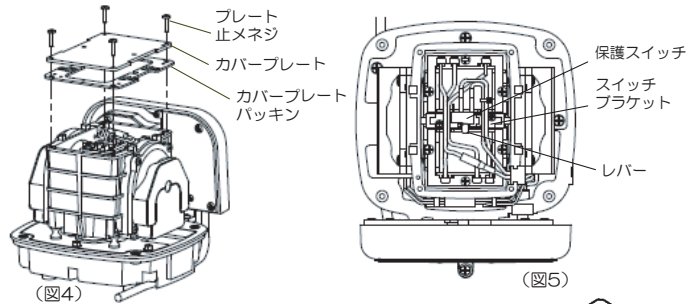


⚠ 注意

⚠ カーパッキンを取り付ける時、カバーU溝部の奥まで確実に挿入してください。カーパッキンが確実に挿入されていないと、ポンプ内部に水が浸入し漏電や感電の原因となります。

(カバープレート・保護スイッチレバーの分解方法)

- プレート止めネジ（4本）を外してください。（図4）
- カープレート、カープレートパックを完全に取り外してください。（図4）
- 電磁石部に取り付けられている保護スイッチのレバーをまず矢印①の方向にスライドさせ、次に矢印②の方向に引き上げて取り外してください。（図5）（図6）この際、保護スイッチを固定しているスイッチブラケットは取り外さないでください。

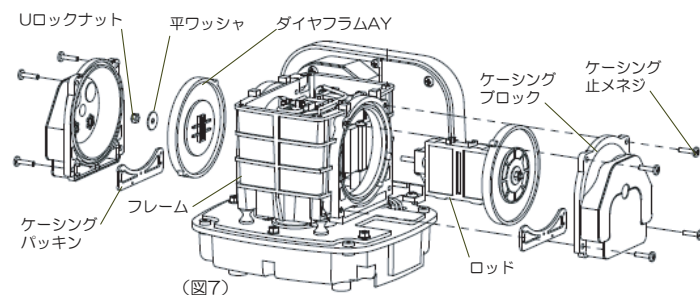


⚠ 注意

⚠ 保護スイッチのレバーを外さずにロッドを取り外すと保護スイッチを破損させる恐れがあります。

(チャンパブロック・ロッドの分解方法)

- ケーシング止めネジ（両側各4本）を外し、ケーシングブロックとケーシングパックを取り外してください。（図7）
- 片側のダイヤフラムAYとロッドを固定しているUロックナットを緩め、平ワッシャと共にダイヤフラムAYを取り外してください。（図7）
- 一方のダイヤフラムAYは、ロッドごと、フレームから水平に引き抜いた後、Uロックナットと平ワッシャを外して分解してください。（図7）

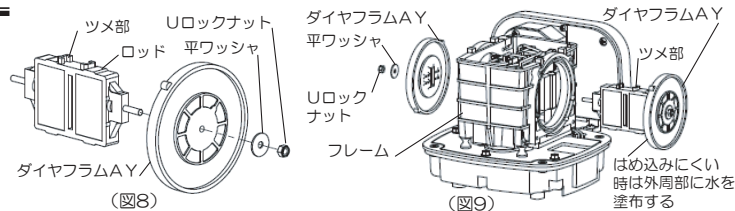


⚠ 注意

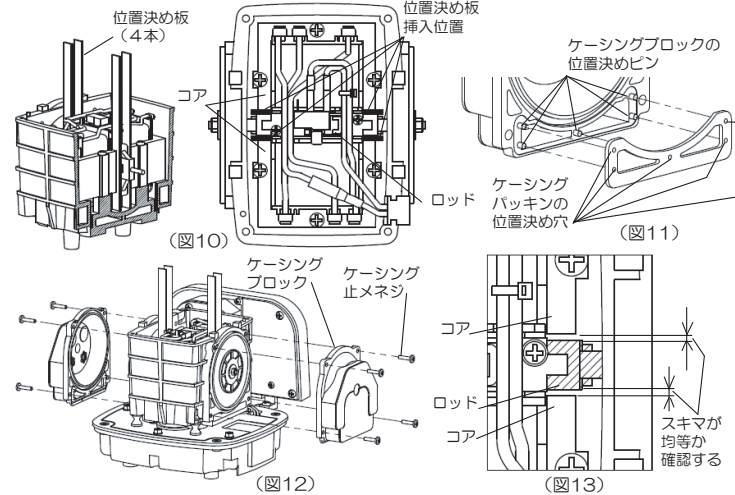
⚠ ロッドに使用している磁石は非常に強力です。取扱いには注意してください。

(チャンパブロック・ロッドの取付方法)

- 新しいダイヤフラムAYとロッドの片側を、付属の新しいUロックナットと平ワッシャで固定してください。（図8）
- 片側にダイヤフラムAYを取り付けたロッドを、ツメ部が上になるようにフレームに差し込み、フレームにダイヤフラムAYを取り付けてください。（図9）フレームに、はめ込みにくい時は、ダイヤフラムAYの外周部に水を塗布してから取り付けしてください。
- もう一方のダイヤフラムAYを、新しいUロックナットと平ワッシャでロッドに固定し、フレームに取り付けてください。（図9）フレームに、はめ込みにくい時は、ダイヤフラムAYの外周部に水を塗布してから取り付けしてください。



- ロッドとコアの間に付属の位置決め板（4本）を差し込んでください。（図10）
- ケーシングブロックにケーシングパックを取り付けてください。（図11）
- 方向を確認し、ケーシングブロックを取り付けてください。（図12）
- 両側のケーシング止めネジ（各4本）を均等に締め付けてケーシングブロックを固定してください。（図12）
- 位置決め板を抜いてください。
- コアとロッドのスキマが左右均等になっているか確認してください。（図13）

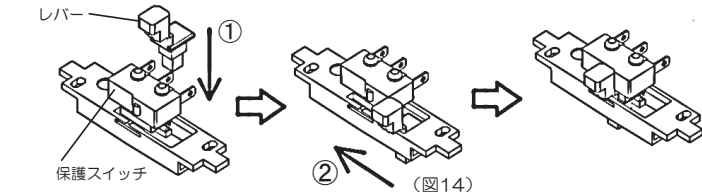


⚠ 注意

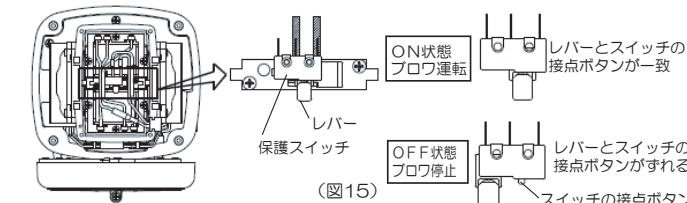
⚠ 位置決め板を使用せずに組まないでください。スキマが均等に組まれていないと、ポンプが早期破損する原因となります。

(カバープレート・保護スイッチの取付方法)

- 分解時に外していた保護スイッチのレバーをまず矢印①の方向に差し込み、次に矢印②の方向にスライドさせて取り付けしてください。（図14）



- 保護スイッチをON状態にしてください。（図15）



- カープレートパックを取り付けてください。（図16）
- 劣化している場合は交換してください。
- 配線の噛み込みみに注意しながらカープレートを取り付けてください。（図16）プレート止めネジ（4本）を均等に締め付けてください。（図16）

(カバー・カーパッキンの取付方法)

- 古いカーパッキンを取り外してください。カーパッキンが硬化し、割れしなくなっている場合は、スクレーパー等で擦ると割れやすくなります。
- 新しいカーパッキンをタンクの位置決めボス（4ヶ所）の位置に合わせて取り付けしてください。（図16）
- 駆動部に防音ネットを取り付けてください。（図3）
- 各部ネジの締め忘れ等の不備がないかを確認し、配線・防音ネット・カーパッキンの噛み込みみに注意しながらカバーを取り付けてください。
- カバー止めネジ（4本）を均等に締め付けてください。（図1）

⚠ 注意

⚠ パッキンが損傷していたり、めくれたままカバーを取り付けると、雨水がポンプ内に侵入し、感電・発火の原因になる他、ポンプが早期破損する原因となります。

(試運転及びロッド位置の再確認)
3.2. 配管へ接続せずに約1分間程、試運転を行ってください。

⚠ 注意

⚠ チャンパブロック・ロッドの交換後は必ず試運転をおこなってください。

13. 保護スイッチの復帰方法

本機には、チャンパブロックが破損した場合、ポンプの運転を停止させ、内部の2次破損を低減するために保護スイッチを設けています。

構造について

保護スイッチは電磁石部に取り付けられています。（図15）保護スイッチは、正常時はON状態にあり、レバーでスイッチの接点ボタンを押していますが、チャンパブロック破損等の原因により、ロッドの動作が不安定になると、ロッドのツメ部がスイッチレバーをスライドさせ、スイッチレバーが接点ボタンから外れます。それによりスイッチの接点がOFFとなり、ポンプが停止します。（図15）

復帰の方法について

⚠ 注意

⚠ 作業をおこなう時は必ず電源プラグを抜いてください。

- ポンプを点検・メンテナンスの後、レバーをスイッチ接点ボタンと一致する位置までスライドさせ、スイッチを復帰させてください。
- 元通りカープレート、カープレートパック、カバーを取り付け、ネジをしっかり締めつけてください。
- 復帰後必ず試運転を行ってください。（7 試運転 参照）

14. クロス配管について

クロス配管は、ばっ気・逆洗配管のある浄化槽の既設置空気配管施工に左右されることなく、ポンプと浄化槽の接続を可能としたゴムホースセットです。ポンプのばっ気・逆洗の吐出口と浄化槽のばっ気・逆洗の空気配管が左右逆になっている際はご使用ください。接続方法の詳細につきましては、別紙『クロス配管の使用法』をお読みください。

15. 補修部品一覧表

AP-100WEX用	メンテナンスキット	単体補修部品	
		チャンパブロック	ロッド
品番	SPAP100WEXAY	SP801AP100WEX	SP877AP100WEX
ケーシングブロック (2個)	○	○	○
ダイヤフラムAY (2個)	○	○	○
カーパッキン (1個)	○	○	○
カープレートパック (1枚)	○	○	○
ケーシングパック (2枚)	○	○	○
ケーシング止めネジ (8本)	○	○	○
プレート止めネジ (4本)	○	○	○
Uロックナット (2個)	○	○	○
平ワッシャ (2枚)	○	○	○
位置決め板 (4本)	○	○	○
保護スイッチレバー (1個)	○	○	○
クリーナエレメント (1枚)	○	○	○
クリーナパック (1枚)	○	○	○
ロッド (1個)	○	○	○

AP-100WEX用	単体補修部品		
	クリーナエレメント	クリーナパック	カーパッキン
品番	898AP3000C-A	870AP30F0-A	870AP100WYNCO-A
構成部品	○	○	○
クリーナエレメント (1枚)	○	○	○
クリーナパック (1枚)	○	○	○
カーパッキン (1枚)	○	○	○

○ご注文の際は、ポンプ型式・部品名及び品番をご連絡ください。

16. 仕様表

	AP-100WEX
定格電圧	V 100
定格周波数	Hz 50 60
常用圧力	kPa 15.1
使用圧力範囲	kPa 12~20
使用温度範囲	°C -10~40
	% 90以下(結露なきこと)
風量 ※	L/min 100
消費電力 ※	W 66
電流 (参考値)	A 2.2 2.3
接続管径 (外径)	mm φ18 (VP13)
質量	kg 6.6

※風量及び消費電力は常用圧力で使用した場合の代表値であって、保証値ではありません。

安永エアポンプ株式会社
 Yasunaga
 本社 〒130-0014 東京都墨田区区民3-4-1 安永東京センター
 TEL 03-3621-3317
 FAX 03-3625-8108
 名張事業所 〒518-0444 三重県名張市津田中村920
 TEL 0595-64-0411
 FAX 0595-64-4165

872AP100WEXSSO
223